

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	富士見市立みずほ学園			
○保護者評価実施期間	令和7年2月25日 ～ 令和7年3月14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和7年3月10日 ～ 令和7年3月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年3月3日 ～ 令和7年3月17日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6施設	(回答数)	6施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援(みずほ学園)と併行利用している児童については、担任が訪問支援を行っている。	・担任が訪問支援を行うことでより児童の実態に合わせた支援を行うことができている。また、日頃から併行利用先と連携しているため、保育所等訪問支援においても情報共有等がスムーズに行えている。	・担任の負担が増し過ぎないように、他の職員が協力し、業務分担の調整を図っていく。
2	・日頃から地域の保育所、幼稚園等との連携が図れている。	・日頃から、巡回相談、施設支援、保育士相談、交流会等で保育所等と連携しているため、保育所等訪問支援の開始や実施にあたっても比較的スムーズに共通理解を得ることができている。	・引き続き、保育所等との連携を深め、訪問先職員の不安や疑問がある場合はより丁寧な説明を行って情報共有や共通理解を図っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問支援を行うスキルを持った職員が少ない。	・ほとんどの訪問支援員が保育所等訪問支援の経験が浅いため、支援の内容について悩みながら対応している。	・職員間で意見交換を行ったり研修に参加したりして、スキルアップを図っていく。 ・保育所で実習を行い、集団での生活やその中での支援のあり方について学ぶ機会を持つ。
2	・訪問支援員が児童発達支援や他の業務との兼務のため、支援を行える件数が限られる。	・現状ではニーズに合わせて実施できているが、今後ニーズが増えた場合、対応しきれないことも考えられる。	・研修等で職員のスキルアップを図ると共に、業務分担を見直し、対応できる件数を増やしていく。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 富士見市立みずほ学園

公表日 令和7年 3月 31日

利用児童数 6名

回収数 5名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2			3		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5				・しっかりと説明していただきました。	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	5					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5				・療育の担任の先生なので、こどもの特性をしっかりと理解して支援していただいています。 ・とても助かりました。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5				・こどもに合った計画だと思います。	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4				・訪問先施設の先生の意見もしっかり聞いていただけていると思います。	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5				・しっかりと説明していただきました。	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5				・三者面談でしっかりと説明していただきました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	5				・とても丁寧に教えていただけています。 ・多少はあるが。もっと機会がほしい。	・家族対象の研修会や情報提供の機会など、家族支援の充実について検討していきます。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	5				・しっかりと伝え合い、理解できていると思います。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5				・悩み事を聞いていただき、いつも親身になって助言等いただいています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				・とても寄り添って支援していただいています。	
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4			1		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4	1			・訪問先施設としっかり連携をとっていただけていると思います。	

	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4	1			・毎回連絡をいただいて、情報を共有してくださっています。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4			1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4			1		
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5				・先生が訪問してくださることを嬉しいとこどもから聞いています。 ・来てくれる日は楽しみにしていました。 ・嬉しそうにしています。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	5				・支援していただいたお陰で、こどもが訪問先施設で過ごしやすくなったと思います。 ・とても満足しています。 ・我々に寄り添っていただき、支援していただいていると感じています。いつも感謝しています。	・引き続き、お子さんとご家族、訪問先施設を支援していけるよう努めていきます。

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	令和7年 3月 31日
富士見市立みずほ学園	利用児童数	6名 回収数 6施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5	1		・自分たちの保育の振り返りにもつながり、良かった。 ・保育所の集団保育の中で、どのように対応した方が良いのかなどの助言や説明があると良かった。	・よりわかりやすい助言や説明を行うよう努めていきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	1		・関わり方を教えていただき、自分たちの関わり方の確認もできて良かったです。	・今後も知識・技術の向上に努めていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5	1		・その日のうちにカンファレンスを行っていただき、次に生かせた。 ・集団保育としての視点と個々としての視点から考える支援の違いもあり、話し合いが必要な時もあった。	・訪問先の集団保育に活かせるよう、必要な話し合いをしっかりと行っていくようにいたします。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	1		・一緒に考えていただけることは心強かったです。 ・排泄など同じやり方で進めていくことができました。	・今後も課題等の解消や改善に向けて、訪問先施設の先生方と一緒に考えてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	4	2		・保護者の方の安心にもつながる支援と感じます。 ・理学療法士、言語聴覚士などの専門の方も入り、支援計画を立てる時に話し合いがあると良かった。	・引き続き、日常での専門職からの助言等を支援計画に反映させ、訪問先施設の先生とも共通理解を持てるよう、わかりやすい説明に努めていきます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
①週1回のみずほ学園への療育に通わせたいという保護者の希望があり、それと同等と勧められた保育所等訪問でしたが、巡回相談と内容は変わらず、療育的要素はどの部分だったのか不明なまま進んでいた。 ②専門的、客観的視点でこちらの悩みや姿に対して1カ月に1回という定期的な支援が受けられて、悩みを持ち越さず子どもに向き合えることはとてもありがたい。					①保育所等訪問では、集団での児童の様子を把握するとともに訪問支援員が直接児童に関わり、訪問先の先生方と状況を確認したり困り事への対応を一緒に考えたりするようにしています。今後はさらに知識・技術を研鑽し、お子さんへの支援と共に先生方へのわかりやすい助言に努めてまいります。 ②引き続き、訪問先施設の先生方の困り事や悩みに寄り添い、共に考えていく姿勢で支援を進めてまいります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		富士見市立みずほ学園		公表日			令和7年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・ 体制・ 整備・ 運営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	1	特に教材は使っていない。	様々な教材の活用を検討していく。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1		職員の知識・技術の向上を図り、職員の体制を充実させていく。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	1				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3					
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			引き続き、研修に参加するなどして職員の資質を向上させていきたい。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3					
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3					
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2					
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2					
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	担当の支援員と児童発達支援管理責任者のみの打ち合わせが多かった。	複数の職員でチームを組み、支援方法について十分な打ち合わせを行うようにしていく必要がある。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3					
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3					
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3					
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	保育所等訪問支援の家族に対する研修や学習の場は提供できていない。	家族支援につながる研修の機会等を検討していく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		初めて訪問支援を開始する施設に対しては、特に丁寧に目的や方法などの説明を行ってきた。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		定期的な面談の他、訪問後の電話連絡などで保護者と共通理解を持つように努めた。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2		きょうだい支援はなかなか機会を作れていない。	きょうだい支援のあり方について検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			訪問先施設の職員の悩みや困りごとを聞き、共に考え助言をしてきたが、十分に伝え切れていなかった施設もあるため、より適切に応じられる体制を整えていく必要がある。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		訪問後に保護者に電話連絡し支援内容の共有を行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止に関する定期的な委員会と研修会を実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束に関する定期的な委員会と研修会を実施している。	